款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	265 万 5	242 万 7	326～327

【教育総務課】

○教育委員会

■定例教育委員会を１２回開催し、うち１回は、傍聴者に配慮し森岳公民館で開催した。
委員会では、規則・要綱等の制定・改正、各種委員・審議会委員の任命又は委嘱等計４８件の議案について審議を行った。

教育委員会での審議風景

■各種研修会への参加及び視察研修の実施

長崎県市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会（大村市）や長崎県市町村教育委員会研究大会（大村市）に参加し、教育行政や生涯学習など分科会ごとのテーマに沿って各市町の教育委員と情報交換や意見交換を行い識見を高めることができた。

６年生の英語授業風景

「英語教育」の先進地である五島市を訪問して、授業参観や意見交換を行い識見を高めた。
五島市の施策である「プロジェクトＧ」の様々な取組や学校現場での活用を直に視察することにより、英語教育の充実や児童生徒の英語力向上のためのヒントを数多く得ることができた。

■教育委員の活動状況

平成３０年度においては、教育委員会や総合教育会議などの各種会議、運動会、学校経営訪問及び各種式典等への参加など、年間で４０回を超える活動を行った。

○総合教育会議

・開催日時　９月２１日（金）１４時　　・参加者　市長、教育長、教育委員、市職員
・協議題　①学校ＩＣＴ環境の整備について　②教育委員会所管の個別施設計画について

総合教育会議に出席し上記協議題について市長と協議するとともに意見交換を行った。

会議では、本市のＩＣＴ環境の現状、県下他自治体の整備状況、国が求めるＩＣＴ環境等について理解を求めるとともに、機器を使って実際の活用方法等について説明を行った。

また、教育委員会所管施設の今後４０年間の整備計画について市長と意見交換を行った。

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	1	2	事務局費	4億8,041万7	4億6,979万2	326～335

【学校教育課】

○北村西望賞教育美術展　　60万円

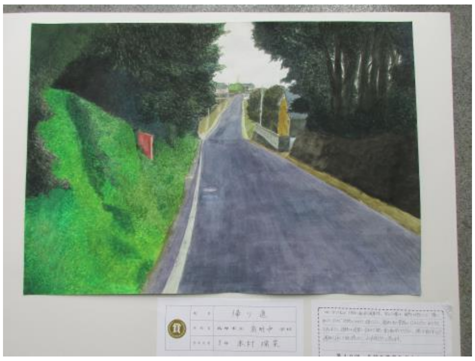
名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展（第４０回目）を開催した。平面の部及び立体の部　出品数２８２点

・北村西望賞、奨励賞授賞状況

区分	小　学　校		中　学　校	
	西望賞	奨励賞	西望賞	奨励賞
平面の部	２人	６人	１人	３人
立体の部	２人	６人	１人	３人

「ざるにのったガネ」　丸山小晴(第四小)

「温泉神社」　馬渡蓮聖(大三東小)



「帰り道」　本村瑞菜(有明中)

「おばあちゃん元気でいてね」草野愛佳(第二小)

「がんばった組体操」　山本珠未(三会小)

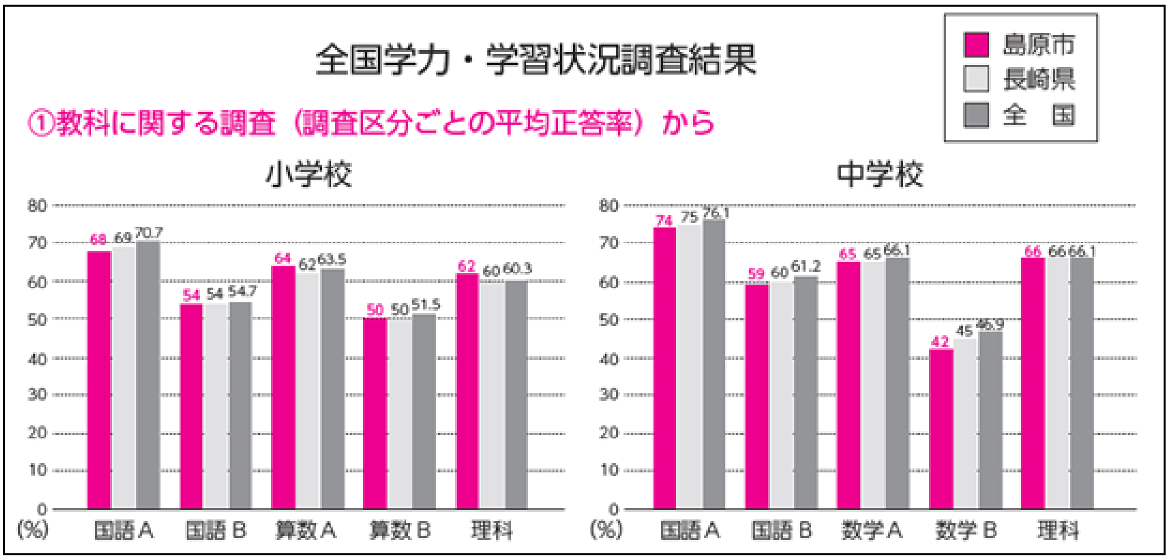
「鷲」　圓口　渚(第三中)

○小・中学校学力向上対策事業　　541 万 3 千円

全国学力・学習状況調査及び県学力調査に加え、学力の新たな検証軸として市独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学力向上に向けての取組の一層の充実を図ったり、習熟度に応じた個別対応を図ったりするために実施した。

また、教職員の授業力改善を図るために教育講演会、先進地視察を実施した。成果として、下記の事項があげられる。

・全国学力・学習状況調査及び県学力調査の前学年において市学力調査を実施したことで市全体また学校別の学力の定着状況、課題を把握することができた。
・全国学力・学習状況調査においては、小学校算数Ａが５年連続全国平均を上回った。
・小学校理科は、全国平均、県平均を上回った。
・中学校理科は、ほぼ全国平均並みである。
・明確になった課題の改善に向けて、個に応じた学習に取り組むことができた。
・授業改善のための先進地・先進校の取組を知ることができた。



具体的実践事項

・市学力調査実施
　小２～小４、中１、中２…国語、算数、数学、英語
・問題データベースの導入
　小学校…国語、算数、理科、社会
　中学校…国語、数学、英語
・島原市教育講演会への講師招聘
　秋田県東成瀬村教育委員会　教育長　　鶴飼　孝　氏
・先進地視察　１０月１６日～１０月１８日
　秋田県東成瀬村立東成瀬小学校・中学校…指導主事、教頭、教諭等　１０人

○外国語指導助手招致事業　　2,046 万 5 千円

現代社会の国際化に対応できる児童・生徒の育成を目的に、外国語指導助手を招致し、中学校では週に２～３回、小学校では週に１～２回外国語指導助手との授業を実施した。ＡＬＴを１名増員することにより、小学校３・４年生においてもＡＬＴを活用した授業を受けられるようになった。

小学校においては英語への興味･関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育った。また、年6回ALT研修会を開催し、指導力の向上に努めた。

・外国語指導助手　５人

氏　名	出身国	配置校	訪問校
ブランシェット・マシュー	カナダ	第一中	第一小
ラブレック・ステファニー	カナダ	第二中	第二小　第三小
エイキン・シャーロット	カナダ	第三中	第五小　高野小
スナトリ・エベリン	カナダ	三会中	第四小　三会小
コーンブルム・スティーブン	U.S.A.	有明中	大三東小　湯江小

○中学生海外訪問交流事業　　372 万 1 千円

将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指し、本市中学生に、夏季休業中を活用した海外の教育関係施設の見学及び現地中学生との交流活動を体験させ、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うことを目的とし、英語圏であり、学力で世界のトップクラスである香港を訪問地とした。経費の一部には参加生徒の保護者負担（３万円×１５人）、長崎県市町村振興協会の国際交流支援事業補助金（１８６万９千円）を活用した。また、今年度は在香港日本国総領事館と香港大学を訪問した。訪問した生徒は、本事業を自身の今後の目標や進路に生かすことができた。

・参加者　市内中学３年生代表

第一中４人、第二中２人、第三中５人、三会中３人、有明中１人　計１５人

引率者（学校教育課長　学校教育課１人　教諭２人）

在香港日本総領事館訪問

香港ユネスコ世界ジオパーク研修

（現地学生との交流）

○姉妹都市等交流事業　　118 万 1 千円

新規事業として中学生を対象とし、夏季休業中に災害時における相互応援協定を締結した静岡県小山町と姉妹町の岡山県勝央町、観光友好都市の京都府福知山市、災害時相互応援協定都市の茨城県北茨城市及び兵庫県三木市と一堂に会し、富士登山をはじめ、世界文化遺産である富士山を理解する機会を持ち、将来に渡る絆づくりや、心身ともにたくましい人材の育成を目指すことを目的として実施した。

・参加者　市内中学１、２年生１０人
　　　　　第一中１人、第二中３人、第三中１人、三会中１人、有明中４人
　　　　　引率者（社会教育課１人、学校教育課１人、市民安全課１人、養護教諭１人）

富士山山頂

他市町中学生との交流会

○不登校児童生徒適応指導事業　　225 万 7 千円

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てる。

・心理的又は情緒的理由により、登校できない状態にある児童生徒に対して、学校への復帰や適応指導教室での学習の援助を行い、中学校３年生の２人の生徒が高校へ進学することができた。

・適応指導教室「ひまわり教室」　島原市北門町１３０番地
　相談員数　２人
　開室日（時間）　毎週月曜日から金曜日までの週５日（午前９時３０分～午後３時３０分）
　活動内容　①児童生徒に対する支援　　②保護者への支援　　③在籍校への支援

平成３０年度 不登校児童生徒数	小学校	４人
	中学校	２５人
	計	２９人

平成３０年度 ひまわり教室通級者数	小学校	２人
	中学校	３人
	計	５人

・不登校児童生徒数の推移

区　分		Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	Ｈ３０
小学校	人数（人）	2	6	4	6	4
	割合（%）	０．０８	０．２５	０．１３	０．２５	０．２６
中学校	人数（人）	２９	２８	２４	２６	２５
	割合（%）	２．０５	２．１７	１．８８	２．３０	２．３０
人数計（人）		３１	３４	２８	３２	２９

（不登校とは、外傷病気等ではなく年間３０日以上欠席があったもの）

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	1億2,442万0	1億1,794万2	334～339

【教育総務課】

○各種施設管理委託料　1,381万2千円

校舎監視業務委託や各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全に努めた。

○学校管理備品購入費　　515万1千円

児童用机・イスほか器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

品　目	学　校　名	金　額
児童用机・イス	第三小・第四小・第五小	１，１８５
行事用備品	第二小・高野小	２３８
家庭科室教師用調理台	第二小	８２１
学校家具類	第二小・第五小・三会小 大三東小・高野小	５１５
デジタル印刷機 大判プリンター	第一小・第三小	６２１
学校図書システム	第一小	５０８
特別支援学級用	第二小・高野小	３１２
その他		９５１

○校庭芝生化事業　　21万3千円

・事業目的　　児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を造成する。第四小学校をモデル校として地元住民が主体となり校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組んだ。

・活動場所　　第四小学校運動場

・活動内容　　芝が剥がれている箇所の苗移植作業、施肥、芝刈、水やり、除草作業等

▲地域を挙げての除草作業　（参加者：約２００人）

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	7,760 万 1	7,418 万 8	338～343

【教育総務課】

○教育振興備品購入費　　120 万 7 千円

教育振興のために楽器等を、科学的な知識等の習得や工夫創造の能力を養うため理科教育機械器具を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】　（単位：千円）

品　目	学　校　名	金　額
アルミバレー支柱、逆上がり補助器等（体育備品）	第一小・第四小・三会小 湯江小	３１８
生物顕微鏡、実験用具等 ハイスピードカメラ （理科教育備品）	第一小・第四小・三会小	８８９

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業（小学校）　　89 万 4 千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

・実施小学校　全９校
・活動場所　長崎県立千々石少年自然の家　第一小、第三小
　　　　　　国立諫早少年自然の家　第二小、第四小、第五小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
・日　　程　１泊２日　第一小、第三小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
　　　　　　２泊３日　第二小、第四小、第五小
・活動内容　ナイトハイキング、オリエンテーリング、野外炊飯、焼き板づくり、課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、星空ウォッチング等

○学校司書配置事業（小学校）　　597 万 3 千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置した。その結果、不読者率１％以下を達成する等、図書館教育の充実を図ることができた。

・各小学校に学校司書を１人配置（計９人）
・１日６時間の週３日配置

■貸出冊数の推移（児童一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	Ｈ３０
小学校	160.7	160.7	170.4	173.6	166.8

■不読者率（１か月に１冊も本を読まなかった者の割合）

区分	Ｈ２９	Ｈ３０
小学校	0.32%	0.28%

※　島原市教育振興基本計画　目標　不読者率１％以下

○学習支援員事業　808万1千円

小・中学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある児童の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

・小・中学校１４校に配置。（第二小、第三小、第五小、有明中…２人配置）（計１８人）
・１日５時間の週５日配置

○幼児ことばの教室設置事業　85万8千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害を改善することができた。

【入退室等の状況】　（単位：件）

区分	Ｈ２９	Ｈ３０
教育相談	３１	３３
入室児	２４	３０
退室児	１７	２４

・第二小に支援員を１人配置。
・概ね週４日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行った。

○指定研究校補助金　84万円

毎年、小学校の４～５校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

・１つのテーマに沿って学校単位で３年間研究に取り組むことをとおして教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
・学校訪問や研究授業における指導助言等により、成果を上げることができた。

平成３０年度小学校研究指定校（５校）

学校名	研究テーマ	備考
第三小	児童が「分かる・できる」喜びを実感できる国語科の授業をめざして（国語科）	２８～３０年度 3年目
第五小	主体的に学び合い、思考力・表現力を身に付ける子どもの育成（算数科）	３０～Ｒ２年度 1年目
三会小	豊かなかかわり合いを通して、よりよく生きようとする児童の育成（特別の教科　道徳）	２９～Ｒ元年度 2年目
大三東小	確かな読み取りをもとに考え、生き生きと伝え合う子どもの育成（国語科）	２８～３０年度 3年目
高野小	思考力・判断力・表現力を身に付けた児童の育成（国語科）	２９～Ｒ元年度 2年目

【教育総務課】

〇ICT 推進事業経費　　648 万円

　教職員の校務の効率化を図るため、陳腐化していた校務用パソコン６０台の更新を行った。

更新した校務用ノートパソコン

〇就学援助費　　2,358 万 5 千円

　経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

　また、従来、入学後に支給していた新入学用品費については、保護者の利便性向上を図るため入学前に支給を行った。

（児童に対する支給実績）

支給費目	件数	支給総額（円）	一人当たり（円/年）
学用品費等	398	7,041,250	17,691
うち新入学用品費	(52)	(2,561,200)	(49,253)
うち学用品費・通学用品費	(346)	(4,480,050)	(12,948)
社会科見学活動費	63	157,490	2,499
校外活動費	51	118,830	2,330
修学旅行費	55	1,101,426	20,025
医療費	145	646,690	4,459
学校給食費	352	14,466,770	41,098
通学費	1	52,690	52,690

（準要保護世帯の認定状況）

		３０年度	２９年度
認定者数	小学校	346 人	337 人
	中学校	189 人	192 人
	計	535 人	529 人
認定率	小学校	14.97%	14.61%
	中学校	16.74%	16.95%
	計	15.55%	15.38%

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	7,513 万 6	7,220 万 0	342～345

【教育総務課】

○工事請負費　　5,842 万 7 千円

緊急度を考え計画的に小学校施設の整備充実に努めた。

主な工事請負費内容　（単位:千円）

学校名	工事名称	金額
第三小学校	教室棟塔屋外壁改修工事	４，１４３
	渡り廊下腰壁改修工事	１，２４２
第四小学校	火災に伴う改修工事	２４，２９６
	防犯カメラ設置工事	８４２
第五小学校	第１棟天井改修工事	６，０４３
	渡り廊下腰壁改修工事	２，８６６
	校舎トイレ洋式化工事	１，２８５
大三東小学校	新校舎屋上防水改修工事	８，８５１

＜大三東小学校新校舎屋上防水改修工事＞

（着工前）

（完成）

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	7,558 万 1	7,409 万 8	344～349

【教育総務課】

〇各種施設管理委託料　　785 万 3 千円

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により施設の維持管理と安全に努めた。

〇学校管理備品購入費　　342 万 2 千円

学校家具類、行事用備品ほか器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入費の内訳】　（単位:千円）

品　　名	学　校　名	金　　額
学校家具類	有明中	５１
保健室用備品	第一中、三会中	２６７
理科室用椅子	有明中	２４９
特別支援学級用	第一中・三会中	７８２
校旗	有明中	４１６
大判プリンター デジタル印刷機	第一中・第二中	６２３
その他		１，０３４

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	5,734 万 4	5,371 万 6	348～353

【教育総務課】

○教育振興備品購入費　　118 万 8 千円

教育振興のために楽器や体育用品等を、科学的な知識等の習得や工夫創造の能力を養うため理科教育機械器具を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

品　目	学　校　名	金　額
液晶テレビ　　　（教材備品）	第二中	８０
ソプラノサックスほか（音楽備品）	第一中・三会中	３８５
卓球台（体育備品）	有明中	１２７
デジタル顕微鏡、 半導体レーザー、実験用具等 （理科教育備品）	三会中・有明中	５９６

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業　　86 万 6 千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

・実施中学校　全５校

・活動場所　　県立千々石少年自然の家　　第一中、第二中、第三中、三会中、有明中

・日　　程　　１泊２日

・活動内容　　星空ウォッチング、キャンプファイヤー、野外炊飯　等

○学校司書配置事業（中学校）　　337 万 2 千円

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置した。その結果、不読者率１％以下を達成することができた。また、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス（図書・資料の紹介・提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

・各中学校に学校司書を１人配置（計５人）

・１日６時間の週３日配置

■貸出冊数の推移（児童一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	Ｈ３０
中学校	16.4	20.1	21.0	23.8	25.5

■不読者率（１か月に１冊も本を読まなかった者の割合）

区分	Ｈ２９	Ｈ３０
中学校	1.12％	0.66％

※ 島原市教育振興基本計画　目標　不読者率１％以下

〇学習支援員事業　　371 万 1 千円

中学校において、普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

・中学校４校に支援員を１人配置、中学校１校に支援員を２人配置（計６人）

・１日５時間の週５日配置

〇中高教育交流事業　　7 万 9 千円

生徒たちに「生命（いのち）」のすばらしさや尊さを学ばせることを目的に、三会中学校と島原農業高校との交流事業を実施した。羊の飼育から試食までを一貫して生徒の体験活動を実施することで、本市教育の基盤である『生命・きずな・感謝の心』の具現化を図ることができた。

６月から８月まで約２ヶ月の間、生徒たちは不慣れではあるが一生懸命に愛情をこめて羊のお世話をした。羊の毛刈り体験や餌やりなど、動物の飼育を経験するとともに、自分たちが飼育した羊の肉を使った調理実習を行うことで、「生命」の温もりを感じ取り、「生命」に対する感謝の心を育むことができた。

羊の餌やり

〇心の教室相談事業　　326 万 5 千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在である「心の相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供した。

（相談員の職務）

・生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行う。

・地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行う。

・その他、学校教育活動の支援を行う。

（心の教室相談員　配置数）

・各中学校に１人ずつ配置

（相談者数の推移）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

区　分		２７年度	２８年度	２９年度	３０年度
１年	男	５７	１６４	２５１	４１８
	女	２０６	１０３	７７	３３２
２年	男	２０３	１１１	６７８	２９１
	女	２１８	２５４	３１８	３４７
３年	男	１４３	３７７	５６	３００
	女	５８９	４７０	３３９	３２０
人数計		１，４１６	１，４７９	１，７１９	２，００８

・心の教室相談員等連絡協議会を２回開催した。

○指定研究校補助金　　33 万 6 千円

毎年、中学校の２～３校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

・１つのテーマに沿って３年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。

・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって成果を上げることができた。

平成３０年度中学校研究指定校（２校）

学校名	研究テーマ	備考
第一中	学力向上のための指導方法のあり方	３０～Ｒ２年度 １年目
第三中	互いに認め尊重し合う生徒の育成	２９～Ｒ元年度 ２年目

【教育総務課】

○ICT 推進事業経費　　432 万円

教職員の校務の効率化を図るため、陳腐化していた校務用パソコン４０台の更新を行った。

更新した校務用ノートパソコン

○就学援助費　　2,030万4千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

また、従来、入学後に支給していた新入学用品費については、保護者の利便性向上を図るため入学前に支給を行った。

（生徒に対する支給実績）

支給費目	件数	支給総額（円）	一人当たり（円/年）
学用品費等	247	7,766,800	31,444
うち新入学用品費	(58)	(3,299,200)	(56,882)
うち学用品費・通学用品費	(189)	(4,467,600)	(23,638)
校外活動費	51	115,930	2,273
修学旅行費	58	2,932,302	50,556
医療費	39	220,170	5,645
学校給食費	191	9,268,912	48,528

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	8,897 万 0	7,324 万 5	352～355

【教育総務課】

○工事請負費　　3,758 万 5 千円

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めた。

主な工事請負費内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

学校名	工事名称	金額
第二中	２棟校舎屋上防水改修工事	１４，４７４
	渡り廊下腰壁改修工事	１，２９６
三会中	職員室棟及び渡り廊下屋上防水改修	１２，７４７
有明中	新校舎屋上防水改修工事	５，７６７

＜第二中２棟校舎屋上の防水改修工事＞

○降灰防除事業　　2,718 万 9 千円

現在設置してあるエアコンは、普賢岳噴火災害時に降灰対策として設置されたもので、設置後２６年余りが経過し、老朽化により稼働していない機体も多い。また、交換用部品も既に製造中止となっており、修理対応ができない状況となっている。

このため、年次計画で更新を進めており、平成３０年度においては第三中学校のエアコン３４台を更新し、生徒の学習環境の整備・充実を図った。

・設備設計業務委託　　　124 万 2 千円　　・エアコン更新工事　　2,594 万 7 千円

＜第三中のエアコン更新工事＞

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	8,006 万 3	6,406 万 1	354～371

【社会教育課】

○市民文化講座経費　　2 万円

　市民の文化に関する教養の向上と興味関心を高めるために開催し、戦国時代の有明海周辺の歴史について学んでいただくことができた。

第 213 回市民文化講座「有明海の戦国時代」	参加者数　７２人

○梅林俳句会経費　　1 万 1 千円

　俳句を通した市民の文化交流を図ることができた。

参加者数	３５人

○市美術展経費　　39 万 5 千円

　市民の鑑賞と美術活動の場としての交流を図ることができた。

出品者数	２６９人
出品点数	４５１点
入場者数	１，３１０人

市美術展

○自主事業運営経費　181 万 8 千円

　芸術性の高い優れた舞台芸術や人気アーティスト等に接する機会を設けるため、公演事業を実施し、市民の文化の向上に努めた。

　また、子どもたちに文化体験の機会を設けるため、通年で「肥前島原子ども狂言」を開催し、子ども達が伝統文化に親しんだ。

・舞台芸術鑑賞事業

公演名	映画「夢は牛のお医者さん」
入場者数	５１１人

映画「夢は牛のお医者さん」

・体験型事業

名　称	肥前島原子ども狂言（５月～１０月、計１２回）
参加者数	３６人

肥前島原子ども狂言

○市民音楽祭経費　　108 万 7 千円

本市における音楽の普及向上を図ることができ、観衆に感動を届けることができた。

部　門	入場者数
洋楽の部	７００人
小中学生の部	２，７５７人
邦楽の部	３９６人

市民音楽祭「洋楽の部」

○コミュニティ助成事業助成金　　140 万円

市婦人会連絡協議会が、活動の活性化や団体のＰＲに繋げるため、活動時に着用するユニフォーム等の購入に対し助成した。

○文化財経費　　954 万 8 千円

指定文化財の保護と活用、国指定史跡「旧島原藩薬園跡」の管理、肥前島原松平文庫の公開、修復、マイクロフィルム化等を行った。

・文化財数　国指定５　国登録１７　県指定１１　市指定７８

・肥前島原松平文庫　来庫者数　４１３人

　　　　　　　　　　マイクロ撮影数　３５６点(１３，６９８コマ)

・薬園跡　　入場者　１，２３６人

・長崎県指定史跡島原城跡保存活用計画策定検討委員会を３回開催した。

○旧島原藩薬園跡整備事業費　　465 万 6 千円　（シルバー除草　219 万 9 千円含む）

薬草や薬木の植え替え整備を行うとともに除草等による維持管理に努めた。

○地域おこし協力隊文化財活用事業経費　　524 万 3 千円

地域おこし協力隊に２人を委嘱し、松平文庫をはじめとする文化財の調査や本市の歴史文化の啓発に取り組んだ。

地域おこし協力隊の活動

○埋蔵文化財範囲確認調査事業経費　　169 万 8 千円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行った。

・埋蔵文化財発掘調査　７遺跡

○島原藩主深溝松平家墓所調査事業経費　　382 万 4 千円

平成 27 年度～30 年度の４ヶ年事業の中で松平家墓所の墓碑立面図を作成した。

松平家墓所調査指導委員会を２回開催し、調査報告書を刊行した。

○島原城跡整備事業経費　675万7千円

昨年までに取得した旧島原拘置支所職員宿舎敷地及び旧長崎地方裁判所島原支部官舎敷地に芝張りを行い、遺構の保護を図った。

古文書調査事業

○古文書調査事業　242万4千円

松平文庫の未整理史料2,195点を調査した。

○文化財多言語解説整備事業　541万7千円

国指定等文化財８か所に１０か国語による説明を視聴できるオメガコードとスマートフォンアプリを整備した。

○公民館学級運営費　292万8千円

市民のニーズに応じた各種講座・学級を開設し、自ら学ぶ生涯学習の意欲が高まった。

・三会公民館学級運営費　３６万１千円
・杉谷公民館学級運営費　３７万４千円
・森岳公民館学級運営費　３９万４千円
・霊丘公民館学級運営費　５０万８千円
・白山公民館学級運営費　３６万２千円
・安中公民館学級運営費　３５万２千円
・有明公民館学級運営費　５７万６千円

学級名	学級数	実施回数	参加人員（延べ）
青年教室	１学級	４回	２７人
女性学級	９学級	８４回	１，８８３人
家庭教育学級	７学級	３９回	６，６８８人
高齢者学級	７学級	６３回	２，０５４人
公民館自主講座	４３学級	１３７回	１，７３６人
合計	６７学級	３２７回	１２，３８８人

○放課後子ども教室推進事業経費　270万4千円

夏休み中に公民館において、「スクールキッズ」を開設し、自学の習慣と学力向上を図った。

・７月３０日～８月３日（各４日間）全７地区公民館
・参加人員　延べ６１１人

市内全小中学校において、「放課後子ども学習室」を開設し、自学の習慣と学力向上を図った。

・４月～３月（長期休暇中を除く）
・実施日数　延べ１，９６０日
・参加人員　延べ３５，１０９人

放課後子ども学習室

夏休み稽古館（対象は小学生）を初級・中級各８回実施。内容は論語の素読、古典の音読と鑑賞を行い、古典文学に親しむことができた。

・参加者数　延べ１６８人

〇通学合宿支援事業経費　　13 万 9 千円

小学校区単位で３年生から６年生までを対象として、３泊４日の通学合宿を公民館等で実施し、子どもたちに自分たちだけでの生活体験をさせ、たくましく生きる力を育んだ。

・実施回数　　　　７回
・参加者数　　１３１人

〇地域・家庭教育力活性化推進事業費　　8 万 9 千円

地区ごとに「家庭教育学級」と中学校区ごとに「思春期子育て講座」を実施した。

・健康教育講座　　　　　　開催数　１０回　参加者数　２８９人
（回数及び人数は、女性学級、家庭教育学級、高齢者学級の再掲）
・思春期子育て講座　　　　開催数　　５回　参加者数　５１５人
（回数及び人数は、家庭教育学級の再掲）

〇成人式経費　　39 万 4 千円

新成人の門出を祝い、成人式を開催した。

・開催日　１月３日
・出席者　４１２人

島原市成人式

〇少年センター運営経費　　468 万 8 千円

少年犯罪・非行等の未然防止のために、補導活動、相談活動、環境浄化活動を実施した。

※平成３０年度実績
・補導件数　　　　　６件
・相談件数　　　　１０件
・白ポスト回収　　３８１点

島原市少年センター少年補導委員会

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	4	2	公民館費	1億728万5	1億298万1	370～385

【社会教育課】

○公民館運営費　　4,208万1千円

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行った。

平成３０年度公民館利用状況

区分	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
有明	79	2,157	389	6,379	1,793	10,019	389	6,152	2,650	24,707
三会	41	1,395	252	3,975	389	3,167	255	5,001	937	13,538
杉谷	72	1,602	343	5,235	953	8,979	335	6,341	1,703	22,157
森岳	113	3,237	593	9,410	1,076	9,977	546	13,067	2,328	35,691
霊丘	93	3,371	420	6,557	1,039	11,776	327	5,313	1,879	27,017
白山	34	1,396	165	3,735	1,231	14,181	223	6,951	1,653	26,263
安中	60	1,261	183	3,127	511	4,668	186	3,873	940	12,929
計	492	14,419	2,345	38,418	6,992	62,767	2,261	46,698	12,090	162,302

主な施設整備

・杉谷公民館１階系統空調設備修繕　　　３０万７千円

・杉谷公民館ガス湯沸かし器修繕　　　　１２万８千円

・霊丘公民館駐輪場修繕　　　　　　　　２０万円

・杉谷公民館雨漏り修繕　　　　　　　　１５万１千円

公民館講座

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	4	3	図書館運営費	6,674 万 3	6,585 万 1	384～387

【社会教育課】

○図書館運営経費　　6,585 万 1 千円

島原図書館、有明図書館は、指定管理者として一般財団法人　島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託した。

（再掲）図書館指定管理料　5,547 万 9 千円

・島原図書館

開館日数	２８８日	登録者数	５１，７０１人
利用者数	３３，８１１人	貸出冊数	１５５，９３１冊
蔵書数	１２５，１２５冊	視聴覚資料	４，８１３点
自主事業	おはなしひろば、夏休み科学教室、手作り講座、読書感想画展等を実施した。		

・有明図書館

開館日数	２８９日	登録者数	５１，７０１人
利用者数	１３，３０２人	貸出冊数	７４，５０８冊
蔵書数	７９，６８６冊	視聴覚資料	１，３４５点
自主事業	おはなしポケット、ふるさと調査隊、子ども向け講座等を実施した。		

施設の整備については、島原図書館において、松平文庫展示室照明修繕、玄関雨漏り修繕、テラス雨よけ設置修繕を行った。

夏休み科学教室

図書館まつり（サトシンさんの絵本ライブ）

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	4	4	文化会館運営費	7,844 万 2	7,831 万 4	386～389

【社会教育課】

○文化会館運営経費　　7,831 万 4 千円

島原文化会館、有明文化会館は、指定管理者として、一般財団法人　島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託した。

（再掲）島原文化会館　指定管理料　　3,255 万 3 千円

開館日数	３１９日
利用人数	９０，４６８人
利用回数	１，０６８回
自主事業	こどもハンドメイド教室、クリスマスコンサート、島原早春寄席の開催

（再掲）有明文化会館　指定管理料　　3,074 万 5 千円

開館日数	３０８日
利用人数	５２，９１３人
利用回数	１，５２０回
自主事業	有料映画会、ヒップホップダンス教室、フラワーアレンジメント教室の開催

施設の整備については、島原文化会館においては、舞台大黒幕改修、大ホール女子トイレ洋式化改修を行った。また、有明文化会館においては、建築設備非常灯修繕、消防設備修繕、高圧区分開閉器取替を行った。

大ホール女子トイレ洋式化改修工事

高圧区分開閉器取替

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	4,434 万 5	3,864 万 8	388～391

【学校教育課】

○学校体育の質的向上と部活動の充実費　　　937 万 9 千円

本市児童・生徒の体力向上に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図った。また、県中学校総合体育大会で県の代表権を獲得した生徒が、九州、全国大会に県代表として出場している。

・部活動消耗器材費　　　　　　　　　　　　　　７７９千円
・部活動充実費　　　　　　　　　　　　　　　　１０５千円
・部活動運営費補助金　　　　　　　　　　　１，３５３千円
・島原市中学校体育大会補助金　　　　　　　２，８８３千円
・長崎県中学校総合体育大会選手派遣費補助金　２，８８２千円
・中学校総合体育大会九州・全国大会派遣費補助金　１，３７７千円

島原市中学校体育大会（バレーボール競技）

島原市中学校体育大会（陸上競技）

○児童・生徒及び教職員の各種健康診断の実施　　514 万 6 円

島原市立小･中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断を実施した。

・児童・生徒検診（結核、心臓、蟯虫、尿、小児成人病予防）　２，７５７千円
・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿）　　２，３８９千円

○小学校フッ化物洗口推進事業　　54 万 9 千円

う歯予防及び低減に向けて、全小学校においてフッ化物洗口を実施した。

・消耗品費（洗口用紙コップ代他）　１８１千円　（実施率）Ｈ２７年度　　３０％
・医薬材料費（洗口用薬剤代）　　　３６８千円　（実施率）Ｈ２８年度　１００％
（実施率）Ｈ２９年度　１００％
（実施率）Ｈ３０年度　１００％

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	2	スポーツ振興費	2億7,140万3	2億6,787万1	390～399

【スポーツ課】

○平成新山島原学生駅伝大会　　1,896万円

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大イベントとして定着させ、駅伝を通しての交流都市を目指し、平成新山を冠とする大会として認知度を高め、島原半島世界ジオパークはもとより魅力ある島原の情報を広く県内外に発信した。

男子	女子	合計
３２チーム	１６チーム	４８チーム

男子ゴール

女子スタート

○島原市民体育祭　　198万7千円

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため島原市民体育祭を開催した。

区分	期日	参加者数
市民体育祭大運動会出場者	１０月　７日	２，９００人
市民体育祭各種競技会（6競技） ※15競技は台風により中止	９月３０日 ※一部競技は別日程	３８０人
	合計	３，２８０人

開会式

大玉送り競争

○「夢の教室」公演事業　　292万1千円

スポーツ選手とそのＯＢ・ＯＧが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図った。

開催校	学級数	夢先生の人数
９校	１５学級	７人

後藤史（サッカー）

飯尾一慶（サッカー）

古木克明（野球）

廣道純（車いす陸上）

上村美揮（体操）

山口美咲（水泳）

柳川雅樹（サッカー）

○スポーツ大会　　30万1千円

区分	期日	対象	参加者数
市民親睦サッカー大会	４月　８日	一般	１７チーム３００人
市民親睦ソフトバレー大会	７月２２日	一般	２７チーム１５１人
少年軟式野球大会	１２月１５日	中学生	３チーム　６０人
少年ソフトボール大会	１２月　８日	小学生	８チーム１６０人
市民親睦テニス大会	１２月　９日	一般・高校生	４１ペア　８２人
市民親睦バドミントン大会	２月１７日	一般	２２ペア　４４人
市民親睦卓球大会	２月２４日	小・中・校・一般	４８ペア２３３人
市民親睦ソフトボール大会	３月１７日	一般	５チーム　７０人
合計	８回		１，１００人

市民親睦ソフトバレーボール大会

市民親睦卓球大会

〇ジュニアスポーツ振興事業　　96万3千円

日本体育大学との「体育・スポーツ振興に関する協定」に伴う事業の一環として、小・中学生を日本体育大学に派遣し、トップレベルの指導者や選手から講義や実技指導を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上を図った。

また、青少年期における望ましい指導を、指導者を対象に日本体育大学から講師を招き講習会を行い、指導者の資質向上を図った。

・小中学生派遣事業

研修期間	８月１日（水）～８月４日（土）
研修場所	学校法人日本体育大学（世田谷キャンパス、健志台キャンパス）
参加人数	１５人

・スポーツ指導者研修会

開催期日	１２月２２日（土）
講　　師	日本体育大学教授　須永美歌子　氏
対 象 者	スポーツ少年団指導者、中学・高校運動部活動指導者、スポーツ推進委員等
参加人数	１６９人
研修内容	講演「ピークパフォーマンスを発揮するために」 ～女性アスリートのコンディショニング法より～

小中学生派遣事業
（オリンピアン有森裕子先生の講演）

指導者研修会

〇有馬スポーツ賞　　26 万 7 千円

区分	小学校	中学校	合計
個人	８人	８人	１６人
団体	５団体	５団体	１０団体

表彰式の様子

〇施設管理の状況

島原復興アリーナほか周辺施設	運営経費	6,319 万 3 千円
	うち指定管理料	4,361 万 4 千円
	指定管理者	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	・中高年はつらつ健康教室 ・大人のための初めてのバレエ教室 ・リフレッシュ健康体操教室 ・東北振興応援チャリティコンサート
	施設整備	アリーナのトイレ洋式化修繕、空調機関係修繕、多目的広場の芝管理業務委託、ラグビーゴール設置工事等
霊丘公園体育館・弓道場ほか周辺施設	運営経費	5,256 万 7 千円
	うち指定管理料	4,073 万 3 千円
	指定管理者	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	・ジュニアバレーボール教室　・弓道教室 ・バドミントン教室　・卓球教室 ・ジュニア水泳教室　・泳法研究会 ・ワンポイント水泳教室　・水中ウォーキング教室 ・水中リハビリ水中シェイプアップ教室
	施設整備	温水プールマット購入、屋根材固定金具落下防止工事、テニスコートの照明器具等修繕、屋内相撲場の修繕等

陸上競技場ほか周辺施設	運営経費	2,902 万 3 千円
	うち指定管理料	1,245 万 9 千円
	指定管理者	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	・ジュニア陸上教室　・タグラグビー教室 ・ジュニアマラソン教室　・みんなでウォーキング
	施設整備	陸上競技場の芝管理業務委託、円盤・ハンマー投げ囲い設置や球場の門扉修繕、バックスクリーン改修工事等
有明プール	運営経費	1,939 万 3 千円
	うち指定管理料	1,855 万 5 千円
	指定管理者	(株)しまばらウェルネッサンス
	主な自主事業	・幼児水泳教室　・夏休み短期教室 ・保育園健康水泳　・高齢者生きがいづくり教室
	施設整備	屋根ステンレス換気口修繕、シャワー用加圧ポンプ修繕等
平成町人工芝グラウンド	運営経費	1,328 万 2 千円
	うち指定管理料	1,255 万 1 千円
	指定管理者	(一社)長崎県サッカー協会
	主な自主事業	・敬老の日無料開放　・国体出場を目指そう ・少女サッカー教室　・春の親子ふれあい広場 ・秋の親子ふれあい広場
	施設整備	トレーニング機器修繕やサッカーゴールネットの購入、浄化槽放流ポンプ修繕や観客席庇修繕

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	3	学校給食費	1億7,046万5	1億6,305万5	398～403

【学校教育課】

○学校給食経費　　1億6,305万5千円

児童・生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図った。また、給食費の透明化、組織・責任体制の一元化等を目的に、（一財）島原市学校給食会を設立した。

・学校給食業務委託料　９，８３４万円
・学校給食配送業務委託料　１，３２８万４千円
・その他委託料　５６８万１千円
・消耗品費　６６３万２千円
・機械器具費　７５９万５千円
・学校給食会運営費補助金　１，４２９万５千円

有明学校給食センター

〈安全及び衛生管理〉

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年３回（各学期毎）
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年３回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年２回（６納入業者）
学校給食従事者の健康管理	細菌等についての検便実施	毎月２回

〈学校給食の充実〉

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会（毎月）	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会（隔月）	食育の取組状況、献立の兼用、学校給食実施上の諸問題	給食会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

〈完全給食実施状況〉

名称	第二小調理場	第三小調理場	共同調理場	第五小調理場	有明学校給食センター
調理数	第二小 229 第一中 377	第三小 271 第二中 189 第三中 156	第一小 491 第四小 202 三会小 259 長貫分校 16 三会中 116	第五小 326	大三東小232 高野小　70 湯江小 215 有明中 291
合計	606	616	1,084	326	808
主食回数	米飯給食　週３回、パン給食　週２回				